

糖尿病劇場 in 新潟 2012

「薬剤師に必要な“患者さんの思い”を思うところ」

～一緒に考えよう！ 患者さんとのすれ違い～

「薬剤師の服薬説明」、それは単なる情報提供ではありません。当然、患者さんの背景や治療の流れを把握した上での対応が必要ですが、患者さんの病気に対する“思い”についても理解しておきたいものです。ところが、臨床では患者さんと薬剤師間でたくさんのすれ違いがおきていると思いませんか。今回は、糖尿病患者さんを例に、その“思いのすれ違い”について皆さんと考えてみたいと思います。保険薬局のカウンターで展開される日常の風景。そこにあるさまざまな患者さんの“思い”に注目してみます。ご多忙とは存じますが、是非、ご参加をお願い致します。

記

期日：平成24年2月11日（土）

時間：13：30～16：30（受付：13：00より）

場所：朱鷺メッセ（〒950-0078 新潟市中央区万代島6-1）302 中会議室

<プログラム>

1. 製品紹介 13：20～13：30 日本イーライリリー株式会社
 2. 開会の辞（趣旨説明） 13：30～13：35
新潟薬科大学薬学部 朝倉俊成
 3. 講義「糖尿病劇場とは」 13：35～13：55
京都医療センター 臨床研究センター 予防医学研究室 岡田 浩 先生
 4. 糖尿病劇場（第1幕） 14：00～14：30
 5. 糖尿病劇場（第2幕） 14：30～15：30
15：30～15：40 休憩
 6. 講演「薬剤師が修得すべきコミュニケーションスキル」 15：40～16：20
国立がん研究センター中央病院総合内科科長 大橋 健 先生
 7. 閉会の辞 16：20～16：30 新潟薬科大学薬学部 朝倉俊成
- 以上

主催：薬剤師糖尿病スキルアップ研究会

共催：新潟薬科大学薬学部高度薬剤師教育研究センター

後援：新潟県薬剤師会，新潟県病院薬剤師会，新潟市薬剤師会

日本イーライリリー（株）